

労働者の団体的記念祭ふるメーデーは吾国に於て茲に第七回、折柄の快晴に意氣頓に昂り「聞け、我々の労働者の歌声高く東京、大阪、初めと各都市に於て行かれ又農村に於ては農民デーとて本年最初の運動を行った。

之れを運動の形式によりて区別するならば、

示威運動	四
演説會	二
懇談會	七
ピラ撒	七

不出勤人員は約四万三千に達した。

標語は労働條件の維持改善を目的とするもの多く、其れ他失業防止、総聯合の促進等之につき、何れも抽象的命題を避けて、具体的、実利的の目標に向かう、あるを知り。

又その運動は金も通じて概して静粛且々々々行かれ、大正九年、初め當時の文慶會も筆頭に十教団体が上野公園にて挙行せし第一回メーデーを想起す